

第48回荒川太郎衛門地区自然再生協議会 議事録

●日時：平成30年10月16日（火）15:00～17:00

●場所：上尾市文化センター 301集会室

●資料

資料-1. 第47回荒川太郎右衛門地区自然再生協議会議事録

資料-2. 生態系モニタリング専門委員会の活動

資料-3. 維持管理・環境管理専門委員会の活動

資料-4. 広報ワーキング及びイベント実行委員会の活動

資料-5. ISE2018開催について

参考資料-1. 平成30年度のモニタリング結果（速報）

参考資料-2. 「荒川太郎右衛門地区自然再生事業 自然再生全体構想」新旧対照表（案）

参考資料-3. 平成30年度のスケジュール

【議事結果】

- ① H30年度生態系モニタリングに関する協議会への提案事項を承認する。
- ② H30年度の維持管理活動計画と進捗に関する協議会への提案事項を承認する。
- ③ 来年度の維持管理作業検討のための巡視（2月6日実施予定）には、協議会委員にも、是非、参加をお願いしたい。
- ④ 中池の管理方針（案）に関する協議会への提案事項を承認する。
- ⑤ H30年度工事に関する協議会への提案事項を承認する。
- ⑥ マーケットリサーチに関する協議会への提案事項を承認する。
- ⑦ H30年度広報活動に関する協議会への提案事項を承認する。
- ⑧ 「荒川太郎右衛門地区自然再生事業 自然再生全体構想（改定案）」は、小見出しをつけたり、概要を記載したりする等、読みやすいような工夫を行う。

【主な議事内容】

●第47回荒川太郎右衛門地区自然再生協議会議事録について
（質疑応答なし）

●生態系モニタリング専門委員会の活動

- ・ イベントや維持管理作業時に確認された生物があれば、これを記録していく仕組みが必要であると考えられる。今後、生態系モニタリング専門委員会で議論していく。
- ・ H30年度生態系モニタリングに関する協議会への提案事項を承認する。
 - ①今後のH30年度生態系モニタリングは、計画どおり実施する。

●維持管理・環境管理専門委員会の活動について

<H30年度の維持管理活動計画と進捗について>

- ・ これまでの中池のオオブタクサ除去で、2つ知見が得られた。
1つ目は、5、6月の初夏の除去は、刈り取るより抜くほうが本種の抑制に効果的であること。2つ目は、9月頃に刈り取りをすれば、種をつけるのを防げるということである。
- ・ 2月6日に、次年度の維持管理作業検討のための巡視を実施予定である。維持管理・環境管理委員会に所属していない協議会委員にも、是非、参加をお願いしたい。
- ・ H30年度の維持管理活動計画と進捗に関する協議会への提案事項を承認する。
①今後のH30年度維持管理作業は、計画どおり実施する。

<今後の作業>

- ・ 平成31年2月6日（水）：次年度の維持管理作業の内容を検討するための巡視

<中池の管理方針（案）について>

- ・ 現在、近隣の小学校に協力いただけないか、関係者と相談しているところである。
- ・ 中池の管理方針（案）に関する協議会への提案事項を承認する。
①移植する草本の選定・増殖方法を検討する。
②具体的な中池の維持管理プログラムを検討する。
③各種団体・企業に向けたプレゼン資料を作成する。

<H30年度工事について>

- ・ 掘削した場所の植生の遷移については、今後、生態系モニタリング専門委員会や維持管理・環境管理専門委員会で検討する。
- ・ H30年度工事に関する協議会への提案事項を承認する。
①H30年度の下池掘削は、維持管理・環境管理専門委員会で検討した植物への配慮方針に基づき、実施する。
②総合案内板02の設置位置は、洪水が流れる断面積が小さくならず、散策中に歩行者の目に入りやすい位置に変更する。
③中池の川島町道区間は、境界が確定したとしても、恒久的な看板を設置できる道路の幅がないため、当面利用する暫定ルートを看板やマップの図に記載する。

<マーケットリサーチについて>

- ・ マーケットリサーチに関する協議会への提案事項を承認する。
①今後も、年間計画以外にも企業等に適宜アプローチしていく。
②企業に提案する作業内容の具体化、プレゼン資料の作成を進めていく。
③エコプロ2018は、12月7日に参加する。

●広報ワーキング及びイベント実行委員会の活動について

- ・ 埼玉県内の中小企業の経営者の中には、環境活動に興味をもつ方は多いが、残念ながら接点がない。今後、接点を探っていきたい。

- ・ H30年度広報活動に関する協議会への提案事項を承認する。

①今後のH30年度広報活動は、計画どおり実施する。

<今後の活動>

- ・平成30年11月23日（金）：川島町農業商工祭
- ・平成30年12月 8日（土）：中池散策・写真撮影イベント

● I S E 2 0 1 8 について

- ・ 海外の方は、日本の自然環境に対する取り組みに興味を持っている。欧米の方は、住む場所に自然があることを重要視する。

● その他

- ・ 「荒川太郎右衛門地区自然再生事業 自然再生全体構想（改定案）」は、小見出しをつけたり、概要を記載したりする等、読みやすくなるような工夫を行う。

以上